

(1)新入寮生の土佐寮紹介

『 土佐寮に入寮して 』

早稲田大学 1年

地方出身者にとって、上京するということには希望のみならず、必ず不安がつくものです。果たしてうまくやっていけるのだろうか。しかし早くも東京土佐寮は、そんな気遣わしさを忘れさせてくれる安息の地となりつつあります。

井の頭公園に隣接する土佐寮は、閑静な住宅街の中に位置します。寮の所在地自体は三鷹市ですが、最寄りの駅は武蔵野市吉祥寺駅で「関東住みたい街ランキング」(みんなが選んだ住みたい街ランキング 2016 | SUUMO 住宅)では 2015 年度まで 5 年連続一位を獲得するなど、環境はなかなかのものです。

では、土佐寮それ自体の住みやすさはいかかなのでしょうか。結論はすでに冒頭で述べていますから、ここではそのように感じる理由を記したいと思います。

まずは寮費についてです。驚くべきことに月額 6 万円弱で食と住とが賄われるのです。金銭的な観点から見て大変住みよいと言えるでしょう。もっともそれらの諸費用は両親が出してくれるのですが。

次に居室についてですが、これはかなり快適なものとなっています。私たちの暮らす部屋は 10 平米ほどの広さがありますが、個室ですから十二分にそれがあると言っても過言ではないでしょう。そのうえ、学習机、エアコン、無線 LAN が標準仕様であることも、そう感じさせる理由のひとつとなっています。

最後に寮のイベントについて書きたいと思います。それは、やはりよさこい祭りへの参加でしょう。入寮を考えるまでの私は、自分がよさこい祭りに参加することになるうとは思っていませんでした。腹藏なく言うと、踊りがあまり得意ではないため、僅かではありましたが、それに対する厭わしさがあったのです。しかし、その感情は踊りの練習を繰り返すうちにいつしか消え、いざよさこい祭りという「輪」に与したときにはすでに楽しさに変わっていたのでした。祭りの雰囲気呑まれることによって新たな自分を見つけられた、そのように感じています。また、何よりも私たち一年生の親睦が深まったと感じられました。今となってはよい経験をしたと想念しています。

さて、ここまで土佐寮のさまとそれに付随する私の感想を綴ってきました。上記の他にもよい点はたくさんあると思います。その一方で、難点もあるかもしれません。とまれ、私にとって大切な寮であることに間違いはありません。この寮となら一緒に成長できる、そんな気がしてならないのです。

『土佐寮での生活について』

早稲田大学 1年

土佐寮に入寮して、はや半年が過ぎ異郷の地での学生生活も少しずつ慣れてきました。とはいえ、まだまだ過ごした月日は浅く、現段階ではごく一部しか説明できませんが新入寮生の一人としてこの土佐寮について紹介をしたいと思います。

土佐寮は住所としては三鷹市に位置していますが、最寄り駅は吉祥寺駅です。寮から吉祥寺駅までは歩いて15分ほどで、途中で井の頭公園を通ります。桜の名所として知られており、花見の時期には多くの人で込み合いますが、普段はジョギングや犬の散歩などをする人が何人かいるくらいで閑静で自然豊かな場所となっており、通学路として適しています。

また土佐寮では日曜・祝日を除いて朝・晩に食事が毎日出ます。食事が出るというのは、時間的にも、金銭的にも、それほど余裕がない学生としても大変ありがたく、いつも重宝させてもらっています。朝食は6時30分から9時までの間となっており、1限目から授業がある日でも余裕をもって食事ができます。夕食は18時30分から21時までの間ですが、授業やサークルで帰るのが遅くなり、間に合わないときが少なくありません。そういったときは、事前に夕食の取り置きを予約し、適宜レンジで温めて食べています。サラダやみそ汁、ご飯は自分で好きな量とって食べることができます。

自室についてですが、1年生は南寮の個室が割り当てられます。広さは6畳ほどでエアコン、学習機がついており、Wi-Fiも部屋ごとにあります。時折、どこからか虫が入ってきますが、それ以外は快適に過ごしております。

土佐寮は学生寮ということもあってアパートとは違い、学生自治のためそれぞれに果たすべき責務があります。寮の規則を守るというのは当然として、入寮して一年目は主に「風呂掃除」と「よさこい祭り」がそれにあたるでしょう。

「風呂掃除」は入寮して1年目と2年目の寮生が当番制で毎日行います。掃除は30分から50分ほどで終わりますが、おざなりにしたり、やらずにいると別の日にやりなおしになるので勤勉に取り組むのが賢明でしょう。(使うのは結局自分たちですし…)

「よさこい祭り」ですが、1年生は原則として土佐寮のチームで踊ることが義務付けられています。OBの方々などに支えてもらいながら、振り付けや衣装などのすべてを自分たちでやっていきます。1年生が主に努めることは、とにかく踊れるようになることで、踊りの練習は2ヶ月ほど前から始まり、週2～3回の頻度で行いました。

最後に拙文ではありますが、一読して下さった皆様が土佐寮の現状を知る一助になれば幸いです。

『土佐寮の生活』

中央大学 1年

半年間の土佐寮での生活で感じたことをいくつか書いていこうと思います。

土佐寮では日曜祝祭日や夏休みなどの長期休みを除いて、朝夕ともに6:30~9:00に食事が出るため、自炊の必要がほとんどありません。また、寮内には自由に使えるキッチンもあり、吉祥寺駅の近くにはラーメン店などもあり、寮の近くにはコンビニもあり、と食事にはまず困りません。寮の食事は不足しがちな野菜をきちんと摂れるためありがたいです。僕は大学ではアーチェリー部に入っていますが、運動部ではやはり身体が資本であり、食事は身体を形作るため寮の食事には感謝でいっぱいです。

土佐寮から駅までは徒歩15分ほどかかりますが、途中で通る井の頭公園では春には桜が咲き乱れ、土日は大道芸をやっている人がおり、夜は弾き語りをしている人がいて通るたびに楽しめます。

洗濯については、共用の洗濯機が6つあり、乾燥機は新しくなったばかりのものを30分100円で使えます。物干し場は屋上にあり、晴れの日はその場で乾かし、雨の日には乾燥機を使ったり、部屋干しをしたりします。

風呂は大浴場です。浴槽の広さは大体4人が入れるほどでシャワーは6口あります。お湯が出る時間は、20:00~2:00であり、遅く帰ってきたときもお風呂には入れるようになっています。またこれ以外の時間でも15分100円でお湯の出るシャワーが使えます。

風呂掃除やゴミを集めたりする庶務活動があったりしますが、キツイ寮則があるわけではなく、楽しく生活できると思います。

土佐寮内で友人ができるため、誘い合って寮内のトレーニングルームで筋トレをしたり、休日に遊びに行ったり、部屋に遊びに行ったり、困ったときには相談もできます。近くにいつも友人がいるというのは、一人暮らしでは得難いものではないでしょうか。

寮の話から少しそれますが、新大学生の方々に、大学に通っていて感じたことを少し書こうと思います。寮では朝ごはんが出るおかげで生活のリズムが整いある程度一定の生活が出来ますが、自分できちんとした生活のリズムを続けようとしないと生活リズムは崩れます。東京へ進学して初めて親元を離れる人が大半だとは思いますが、自制心を強く持つことを忘れないでください。また、大学の4年間は長いようで本当に一瞬です。大学に入ってサークルに入ったり、バイトをしたり、部活をしたり、人によってどのような大学生活にしていくかは様々でしょうが大学の体育連盟所属の部活への加入慎重に考えた方がいいです。結構時間をとられます。

縷々お付き合いいただきありがとうございます。